排出ガス測定項目　　測定場所：赤磐市環境センター

①

項　　目	基　準　値	煙道	令和4年度	
ダイオキシン類 (ng-TEQ/㎥N)	1ng-TEQ/㎥N 以下	1号炉	令和4年5月13日	0.190
		2号炉	令和4年5月13日	0.180

②

項　　目	基準値	煙道	令和4年度			
			令和4年5月13日	令和4年8月26日	令和4年11月24日	令和5年2月15日
ばいじん(ダスト)濃度	0.15g/㎥N以下	1号炉	0.001	0.0008未満	0.002	0.0008未満
硫黄酸化物濃度	320ppm以下		1未満	5.0	2.0	4.0
塩化水素濃度	700mg/㎥N以下		28	24	38	39
窒素酸化物濃度	250ppm以下		57	47	48	36
一酸化炭素濃度	100ppm以下		1	1	1	3
水銀濃度	50μg/㎥N		0.30		0.24	
項　　目	基準値	煙道	令和4年5月26日	令和4年8月30日	令和4年11月14日	令和5年2月17日
ばいじん(ダスト)濃度	0.15g/㎥N以下	2号炉	0.002	0.001未満	0.002	0.0009未満
硫黄酸化物濃度	320ppm以下		1.0	5.0	3.0	3.0
塩化水素濃度	700mg/㎥N以下		25	41	15	22
窒素酸化物濃度	250ppm以下		54	64	67	46
一酸化炭素濃度	100ppm以下		1	1	1	2
水銀濃度	50μg/㎥N		0.90		2.20	

表中の未満は、測定定量下限値未満を示しています。

悪臭測定項目　：　測定場所は、測定位置図のとおりです。

③

項　　　　目		基準値（敷地境界上）	令和4年度	
			No.1調査日	No.2調査日
			令和4年7月23日	令和4年7月23日
1	アンモニア	2ppm以下	0.4	0.3
2	メチルメルカプタン	0.004ppm以下	0.0002未満	0.0002未満
3	硫化水素	0.06ppm以下	0.002未満	0.002未満
4	硫化メチル	0.05ppm以下	0.001未満	0.001未満
5	二硫化メチル	0.03ppm以下	0.0009未満	0.0009未満
6	トリメチルアミン	0.02ppm以下	0.0005未満	0.0005未満
7	アセトアルデヒド	0.1ppm以下	0.005未満	0.005未満
8	プロピオンアルデヒド	0.1ppm以下	0.005未満	0.005未満
9	ノルマルブチルアルデヒド	0.03ppm以下	0.0009未満	0.0009未満
10	イソブチルアルデヒド	0.07ppm以下	0.002未満	0.002未満
11	ノルマルバレルアルデヒド	0.02ppm以下	0.0009未満	0.0009未満
12	イソバレルアルデヒド	0.006ppm以下	0.0003未満	0.0003未満
13	イソブタノール	4ppm以下	0.09未満	0.09未満
14	酢酸エチル	7ppm以下	0.3未満	0.3未満
15	メチルイソブチルケトン	3ppm以下	0.1未満	0.1未満
16	トルエン	30ppm以下	1未満	1未満
17	スチレン	0.8ppm以下	0.04未満	0.04未満
18	キシレン	2ppm以下	0.1未満	0.1未満
19	プロピオン酸	0.07ppm以下	0.003未満	0.003未満
20	ノルマル酪酸	0.002ppm以下	0.0001未満	0.0001未満
21	ノルマル吉草酸	0.002ppm以下	0.00009未満	0.00009未満
22	イソ吉草酸	0.004ppm以下	0.0001未満	0.0001未満

表中の未満は、測定定量下限値未満であることを示しています。

騒音及び振動測定　:　測定場所は、測定位置図のとおりです。

騒音測定:施設稼働による影響

④

測定地点	調査回数	時期	騒音レベル(dB)			
			朝:5時～7時	昼間:7時～20時	夕:20時～22時	夜間:22時～翌5時
東側 敷地境界 No.1地点	年4回	6月	47	50	51	51
		9月	48	50	56	49
		12月	43	47	45	37
		3月	43	46	44	37
北西側 敷地境界 No.2地点	年4回	6月	49	54	48	46
		9月	52	55	53	50
		12月	49	54	48	45
		3月	50	54	48	44
基準値(敷地境界上)			50	60	50	45

測定地点	調査回数	時期	騒音レベル(dB)	
			昼間:6時～22時	夜間:22時～翌6時
東側民地 No.3地点	年4回	6月	45	49
		9月	44	44
		12月	44	37
		3月	42	36
参考値※1			55	45
岡山 吉井線① No.4地点	年4回	6月	56	49
		9月	56	51
		12月	57	48
		3月	56	49
参考値※1			70	65

※1:参考値は、環境基準等の指定がないため、周辺環境の状況を踏まえて設定しています。

調査日:R4年6月7日～8日　　9月14日～15日　　12月6日～7日　　R5年3月7日～8日

No.1、2、3の地点での騒音レベルが環境基準や参考値を上回りましたが、これらの主要な騒音源はカエル、虫、水路の放水音、交通車両に起因する騒音であり、赤磐市環境センター施設稼働に起因する騒音が要因ではありませんでした。

騒音及び振動測定 ： 測定場所は、測定位置図のとおりです。

振動測定：施設稼働による影響

⑤

測定地点	調査回数	時間帯	振動レベル（dB）	
			調査結果	基準値（敷地境界上）
東側 敷地境界 No.1地点	年1回	昼間：7時～20時	25	60
		夜間：20時～翌7時	25未満	55
北西側 敷地境界 No.2地点	年1回	昼間：7時～20時	31	60
		夜間：20時～翌7時	25	55
測定地点	調査回数	時間帯	振動レベル（dB）	
			調査結果	規制値等※1
東側民地 No.3地点	年1回	昼間：7時～20時	26	55
		夜間：20時～翌7時	25未満	55
岡山 吉井線① No.4地点	年1回	昼間：7時～20時	35	55
		夜間：20時～翌7時	26	55

調査結果は、各時間帯の算術平均値を示しています。

表中の未満は、測定定量下限値未満であることを示しています。

※1：No.3、No.4の周辺地点は、振動を感じる感じないの境界とされる
振動レベルと比較しています。

調査日：令和4年12月6日～7日（No.1～No.3） 令和5年1月24日～25日（No.4）

※No. 4地点は道路工事中のため延期

騒音及び振動測定　：　測定場所は、測定位置図のとおりです。

⑥　**騒音測定：収集運搬車両による影響**

測定地点	調査回数	時間帯	騒音レベル（dB）	
			調査結果	基準値(参考値)
岡山 吉井線① No.4地点	年1回	昼間：6時～22時	66	（70）
		夜間：22時～翌6時	59	（65）
桜が丘北 幹線 No.5地点	年1回	昼間：6時～22時	63	65
		夜間：22時～翌6時	55	60
岡山 吉井線② No.6地点	年1回	昼間：6時～22時	71	（70）
		夜間：22時～翌6時	65	（65）

※参考値は、環境基準等の指定がないため、周辺環境の状況を踏まえて設定しています。

調査日：令和4年12月6日～7日

No.6の騒音レベルが基準値（参考値）を上回りましたが、他の交通車両の影響を大きく受けたことに起因します。

振動測定：収集運搬車両による影響

測定地点	調査回数	時間帯	振動レベル（dB）	
			調査結果	基準値
岡山 吉井線① No.4地点	年1回	昼間：7時～20時	38	65
		夜間：20時～翌7時	28	60
桜が丘北 幹線 No.5地点	年1回	昼間：7時～20時	25未満	70
		夜間：20時～翌7時	25未満	65
岡山 吉井線② No.6地点	年1回	昼間：7時～20時	42	65
		夜間：20時～翌7時	31	60

表中の未満は、測定定量下限値未満であることを示しています。

調査日：令和4年12月6日～7日

環境調査項目　：　測定場所は、測定位置図のとおりです。

⑦　　　　　　　　　　　　　　**大気質測定**

調査項目		測定結果						
		No.1　津崎地区	No.2　下市地区	No.3　町苅田地区	No.4　桜が丘地区	No.5　西中地区	No.6　東窪田地区	No.7　尾谷地区
ダイオキシン類（pg-TEQ/㎥）	測定値	0.0170	0.0032	0.0052	0.0011	0.0082	0.0087	0.0094
	基準値	年平均値0.6pg-TEQ/㎥以下						
硫黄酸化物（ppm）	1時間最高値	0.003	0.009	0.005	0.002	0.003	0.004	0.001
	基準値	0.1ppm以下						
	日平均最高値	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	0.000
	基準値	0.04ppm以下						
塩化水素(ppm)	期間平均値	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	参考値	0.02ppm以下						
窒素酸化物（ppm）	日平均最高値	0.002	0.005	0.003	0.003	0.003	0.004	0.003
	基準値	0.04ppm以下						
浮遊粒子状物質（mg/㎥）	1時間最高値	0.088	0.057	0.041	0.087	0.071	0.046	0.065
	基準値	0.20mg/㎥以下						
	日平均最高値	0.020	0.019	0.018	0.021	0.020	0.022	0.022
	基準値	0.10mg/㎥以下						

調査日：R4年11月17日～24日

表中の＜は、測定定量下限値未満を示しています。

【測定場所】
津崎（津崎コミュニティハウス）、下市（中央公民館）、町苅田（石相小学校）、桜が丘（桜が丘運動公園）、西中（西山公民館）、東窪田（岡山県農林水産総合センター）、尾谷（尾谷コミュニティハウス）

環境調査項目　：　測定場所は、測定位置図のとおりです。

⑧　ダイオキシン類濃度調査

媒体	調査回数	令和4年度			
		調査地点	試料採取日	調査結果	基準値
水質（pg-TEQ/L）	年1回	B-3 防災調整池放流口	令和4年11月14日	0.094	10
水質（pg-TEQ/L）	年1回	B-1 井戸	令和5年1月24日	0.061	1
		B-2 井戸	令和5年1月24日	0.061	
土壌（pg-TEQ/g）	年1回	C-1 田	令和5年1月24日	38	1,000
		C-2 田	令和5年1月24日	45	
		C-3 田	令和5年1月24日	24	

田の土壌測定値に若干差がありますが、この要因は自然界に存在するものに加え、稲作での除草剤の使用、農業用水としての田への引き込み（水中にもダイオキシンが溶け込みやすい）など長年にわたり蓄積されたことに起因するものと考えられます。